

プロジェクトⅡ・ヒアリング調査について

1. 候補先への照会結果について（※：第1回会議で提示したヒアリング候補）

| 機関 | 調査可否 | 調査依頼に対する回答・意見 |
|-----------------------------------|------|--|
| (1) 中海・宍道湖経済圏 | | |
| 株式会社 山陰経済経営研究所 ※ | ○ | ・他には、行政や商工会議所等がよいのではないかと。また、地域を変えて(米子等松江以外)はどうか。 |
| 米子商工会議所 | × | ・「中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会」は、幹事会(事務局:松江商工会議所)、その下に4つの委員会(事務局:松江・米子・安来・境港の各商工会議所)があるので、全体的な事柄についての照会は松江商工会議所が相応である。 (「中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会」構成メンバー) |
| 松江商工会議所 ※ | ○ | ・観光振興課、産業振興課にて対応する。 (「中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会」構成メンバー) |
| (2) 静岡・浜松・豊橋 三遠南信 | | |
| 財団法人 静岡経済研究所 ※ | △ | ・ヒアリング調査実施は可だが、質問に十分答えられない可能性がある。 ・都市圏・都市間の連携などの情報について、所内の情報が少ない。静岡浜松間の連携は皆無であるほか、定住自立圏構想も県内では話題にのぼっていない。 ・浜松と豊橋は距離が近いこともあり、オプトロニクスクラスターなど産業面でつながりはある。浜松商工会議所や社団法人東三河地域研究センターが、データ・資料をお持ちではないか。三遠南信の取組みの情報も得られるのではないかと。 |
| 浜松商工会議所 (浜松(豊橋・飯田) 商工会議所 ※) | × | ・当所は「三遠南信地域交流ネットワーク会議」の一構成員に過ぎない。 (事務局注:3地域の連携と事業展開を通じ交流ネットワーク形成を目的に、三遠南信10市8町11村から構成、事務局は浜松・豊橋・飯田3市持ち回り) ・現在は、三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA)という組織があり、事務局は浜松市企画課であるので、そちらのほうがよいのではないかと。 ・遠州地域にはシンクタンク等はほとんどない。その他には、社団法人東三河地域研究センター等がよいのではないかと。 |
| 浜松市 | ○ | ・他には、社団法人東三河地域研究センター等がよいのではないかと。愛知大学内にも研究機関があると聞いたことがある。 (事務局注:愛知大学三遠南信地域連携センター。今回は割愛。なお、行政、NPO、産業界、マスコミ、教育・公共機関、学内から委員が参加する「センター会議」には、金子鴻一 東三河地域研究センター常務理事も参画。) |
| 社団法人 東三河地域研究センター | ○ | お役に立てるかどうかわからないが協力する。 |
| (3) 東瀬戸経済圏 | | |
| 財団法人 岡山経済研究所 ※ | ○ | ・どの程度のお役に立つかはわからないが、知っている範囲で協力させていただく。 ・(参考に送付した北陸地域づくり叢書について)研究成果がとても充実していることに驚いている。訪問を受けるまでには拝読させていただく。 |
| 財団法人 香川経済研究所 ※ | × | ・当所の見解は行政サイドの考え方とは相違している。 ・四国では道州制は四国州か中四国州か、また州都は広島(中国州)か岡山(中四国州)かという議論もあり、回答が難しい。 |

2. 調査実施計画について

- ・ (1) 中海・宍道湖経済圏＋東瀬戸経済圏、(2) 静岡・浜松・豊橋 三遠南信 の2回で実施いたします。

(1) 中海・宍道湖経済圏 ＋ 東瀬戸経済圏

| 参加者 | 石澤委員、酒井委員、樋口委員、北陸経済研究所 桐木、北陸建設弘済会 佐藤 | | | |
|-----|--------------------------------------|-------|-------|---|
| 1日目 | 9月6日 (日) | | 移動 | 各地→松江 |
| | | | 宿泊 | 松江東急イン 〒690-0003 島根県松江市朝日町590 TEL:0852-27-0109 |
| 2日目 | 9月7日 (月) | 9:00 | 移動 | 松江駅→松江商工会議所 (島根県商工会館) |
| | | 9:30 | ヒアリング | 松江商工会議所 〒690-0886 松江市母衣町55-4 TEL:0852-23-1616 観光振興部観光振興課 竹下昌宏様 |
| | | 11:30 | (終了) | |
| | | | 移動 | 松江商工会議所 (島根県商工会館) →山陰経済経営研究所 (山陰合同銀行別館) |
| | | 13:30 | ヒアリング | 山陰経済経営研究所 〒690-0061 松江市白潟本町18番地 山陰合同銀行別館2階 TEL:0852-27-8248 田立善人様 |
| | | 15:30 | (終了) | |
| | | 16:01 | 移動 | 松江16:01→岡山18:38(やくも24号) 他に、松江16:58→岡山19:38、松江17:48→岡山20:23 |
| | | | 宿泊 | ホテルグランヴィア岡山 〒700-8515 岡山市北区駅元町1番5号 TEL:086-234-7000 |
| 3日目 | 9月8日 (火) | 9:00 | 移動 | 岡山駅→岡山経済研究所(中国銀行本店) |
| | | 9:30 | ヒアリング | 岡山経済研究所 〒700-0823 岡山市北区丸の内1丁目15-20 中国銀行本店内 TEL:086-234-6534 調査部長 雄龍清志様 |
| | | 11:30 | (終了) | |
| | | PM | 移動 | 岡山→各地 |

(2) 静岡・浜松・豊橋 三遠南信

| | | | | |
|-----|------------------------------------|-------|-------|--|
| 参加者 | 原座長、川上委員、谷本委員、北陸経済研究所 長、北陸建設弘済会 佐藤 | | | |
| 1日目 | 9月14日 (月) | AM | 移動 | 各地→浜松 |
| | | 14:00 | ヒアリング | 浜松市 〒430-8652 浜松市中区元城町103-2 TEL:053-457-2242 企画部企画課 久米様(SENA事務局) |
| | | 16:00 | (終了) | |
| | | | 宿泊 | オークラアクトシティホテル浜松 〒430-7733 静岡県浜松市中区板屋町111-2 TEL:053-459-0111 |
| 2日目 | 9月15日 (火) | 9:09 | 移動 | 浜松9:09→豊橋9:45 |
| | | 10:00 | ヒアリング | 東三河地域研究センター 〒440-0888 豊橋市駅前大通二丁目46番地 名豊ビル6階 TEL:0532-21-6647 常務理事・主席研究員 戸田敏行様 |
| | | 12:00 | (終了) | |
| | | PM | 移動 | 豊橋→各地 |

3. ヒアリング調査内容

- 各調査先へは、質問事項の概要をお送りしています。以下は、「中海・宍道湖経済圏」のヒアリング先に送付したものであり、下線部はヒアリング先によって当該の地域・市町村名となります。

1. 実施趣旨・目的

- 地方圏における都市圏連携（中核都市（圏）相互の連携、中小都市と周辺地区の連携等）の事例を調査するために実施。

2. 調査事項(案)

【都市圏・都市間の連携】

- 地方都市圏・都市間の連携においては、どのような分野・領域で分担・補完が可能でしょうか。また、「中海・宍道湖経済圏」において実際に連携がみられるのは、どのような分野・領域でしょうか。
- 都市圏間の時間距離の長短、後背地や周辺環境の相違、地域資源の有無等によって、連携方策や内容に違いはあるでしょうか。
- 「定住自立圏構想」においても、定住自立圏を構成する中心市と周辺市町村、定住自立圏と大都市圏とのとの結び付きの強化が謳われています。「中海・宍道湖経済圏」では、米子市・松江市（周辺市町：境港市、安来市、東出雲町）が先行実施団体ですが、定住自立圏構想との整合・連動はどうあるべきでしょうか。

【北陸地域との比較】

- 北陸では一定間隔で都市が連なる「接続型都市構成」という特有の構造が見られ、特に富山－金沢間等では県境を越えて日常的に人が往来しています。「中海・宍道湖経済圏」では同様の事例はあるでしょうか。
- 北陸の都市圏・都市間の連携としては、①大都市（東京・名古屋・大阪）－北陸間、②北陸地域内の主要都市間（富山市－金沢市－福井市等）、③北陸地域内の主要都市と中小都市・農山漁村間、の3層からなっています。「中海・宍道湖経済圏」では、階層の存在や連携の特色等はあるでしょうか。
- 北陸では都市圏・都市間の連携に加え、海産物・海洋資源や農産物・森林資源等による「海際・山際の連携」が見られます。「中海・宍道湖経済圏」では、同様の地域資源を活かした連携はあるでしょうか。

※現段階での案であり、修正・変更する可能性があります。